令和６年度鳥取県営病院事業

決算概要説明資料

病　院　局

令和６年度鳥取県営病院事業決算概要

病　院　局

１ 概　　要

○令和6年度は病院事業全体では、経営状況を判断する経常損益は1,170百万円の損失、純損益（経常損益＋特別損益）は1,027百万円の損失を計上した。
○病院別の経常損益は、中央病院は650百万円の損失を計上（4年ぶりの損失）、厚生病院は520百万円の損失を計上（2年連続の損失）。純損益は、中央病院が553百万円の損失、厚生病院が474百万円の損失となった。
○累積欠損金は、病院事業全体で49億円に増加した。なお、現金・預金は十分に保有しており、当面の経営に支障はない。

２ 収益的収入及び支出

（単位：百万円（税抜））

区　分	令和６年度 (A)	令和５年度 (B)	差　引 (A)－(B)	主な増減理由等
病院事業収益	29,819	29,528	291	
中央病院	21,484	20,826	658	
厚生病院	8,335	8,702	△ 367	
医業収益	26,148	25,197	951	○入院収益及び外来収益の増
医業外収益	3,481	4,228	△ 747	○補助金の減
特別利益	190	103	87	
病院事業費用	30,846	29,454	1,392	
中央病院	22,037	20,716	1,321	
うち減価償却費	2,146	2,138	8	○新病院整備に伴う建物・機器類に係るもの
厚生病院	8,809	8,738	71	
うち減価償却費	488	606	△ 118	
医業費用	29,176	27,832	1,344	○給与費の増（785百万円）、材料費の増（457百万円）ほか
医業外費用	1,623	1,588	35	
特別損失	47	34	13	
経常損益	△ 1,170	5	△ 1,175	（医業収益＋医業外収益）－（医業費用＋医業外費用）
中央病院	△ 650	39	△ 689	
厚生病院	△ 520	△ 34	△ 486	
純損益（収入－支出）	△ 1,027	74	△ 1,101	経常損益＋特別利益－特別損失
中央病院	△ 553	110	△ 663	
厚生病院	△ 474	△ 36	△ 438	
現金・預金残高	11,681	12,179	△ 498	
中央病院	6,352	6,296	56	
厚生病院	5,329	5,883	△ 554	
累積欠損金（当年度未処理欠損金）	△ 4,853	△ 3,826	△ 1,027	
中央病院	△ 3,032	△ 2,479	△ 553	
厚生病院	△ 1,821	△ 1,347	△ 474	

3 資本的収入及び支出

（単位：百万円（税込））

区　分	令和６年度 (A)	令和５年度 (B)	差　引 (A)-(B)	備　考
資本的収入	2,426	1,855	571	
企業債	1,256	685	571	建設改良費に充当
負担金	1,004	971	33	企業債償還金に充当
補助金	89	106	△ 17	建設改良費に充当
一般会計精算金受入	77	93	△ 16	一般会計精算金（※）の後年度受入
その他の収入	0	0	0	
資本的支出	3,688	4,023	△ 335	
建設改良費	1,421	853	568	
企業債償還金	2,267	3,170	△ 903	
補助金返還金	0	0	0	
収入－支出	△ 1,262	△ 2,168	906	
中央病院	△ 813	△ 1,728	915	
厚生病院	△ 449	△ 440	△ 9	

※一般会計精算金：過年度に交付された病院事業交付金の精算。

■主な整備事業

【中央病院】

○医療機器等整備事業　793百万円

（手術支援ロボット282百万円、ガンマカメラ58百万円ほか）

【厚生病院】

○医療機器等整備事業　528百万円

（全身用Ｘ線ＣＴ診断装置265百万円、超音波検査装置（腹部／体表／血管）33百万円ほか）